

文法運用能力を育てる英語科指導法

—フォーカス・オン・フォームによる文法指導を通して—

教育実践高度化専攻 教科指導重点コース 言語・社会科学系（英語）

畔柳 一佳

本研究実践では、中学校英語科において、学習する英文法の使用方法や使用場面を理解し、その英文法をコミュニケーションにおいて活用することができる生徒の育成を目指した。そのために、フォーカス・オン・フォームによる文法指導を行う手立てを考えた。研究仮説を、「先行実践で見られた FonF を組み合わせて、工夫した FonF による文法指導を行えば、新出文法の使用方法や使用場面を理解し、生徒はその英文法をコミュニケーションにおいて活用することができるだろう。」とし、手立てとして「Small Talk」「FonF による文法導入」「プラクティス」「FonF 活動」を行なった。研究仮説を検証するため、実践の事前と事後に行なったコミュニケーションと文法意識に関するアンケート、第9時に行なった Unit Activity における生徒の文法使用、Unit Activity 後の記述とインタビューの分析及び考察を行った。

これらの結果から、FonF による文法指導の実施によって、コミュニケーションをとる際に文法表現への意識の向上が見られ、FonF による文法指導の部分的な効果が見られた。